

令和8年度広島県海ごみ清掃活動等推進業務の企画提案書作成要領

この要領は、広島県海ごみ清掃活動等推進業務の委託業者の選定に当たり、総合的な審査により受託者を選定することを目的とし、提案書を作成するために必要な事項を定めるものである。

1 提出書類等

	関係書類名	様式	部数	留意事項
(1)	企画提案提出届	様式4	正本1部	
(2)	提案書	任意 (A4版)	正本1部	・ 正本は、会社名等を記入すること。 ・ 副本は、審査資料として活用するため、会社名やロゴマークなど参加者が特定できる表示は記入しないこと。
			副本7部	
(3)	見積書	任意 (A4版)	正本1部	・ 正本は、会社名等を記入すること。 ・ 副本は、審査資料として活用するため、会社名やロゴマークなど参加者が特定できる表示は記入しないこと。 ・ 経費ごとの内訳が分かるように記載すること。
			副本7部	

注) 提出書類の整理方法

- ア (1)～(3)を1セットとし、クリップ等で綴じて提出すること。
- イ 正本については、散逸しないよう袋とじ等で編綴した形式で提出すること。
- ウ 副本については、クリップ等により加除可能な形式で提出すること。

2 提案書の作成について

(1) 一般事項

- ア 用紙は、原則として、A4判、縦置き横書き、両面印刷とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えない。
- イ 使用するフォントは10ポイント以上の大きさとする。
- ウ 提案書には、ページ番号を付与し、通し番号を各ページの下部中央に印字すること。
(企画提案提出届及び見積書については、ページ番号は不要)
- エ 審査の公正を期すため、提案書の副本には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示をしないこと。

(2) 提案書について

次に掲げる項目について、業務の実施内容を簡潔にまとめること。

- ア 過去の同種又は類似業務の受託実績(業務概要(本業務の同種又は似通った内容等)、概算経費等)
- イ 業務の実施体制
 - ・ スタッフごとに、氏名・役職名・実施する業務内容、業務実績、業務遂行で特記すべき技能などを具体的に記載すること(提案書提出時に、スタッフが決定していない部門については、想定される者の業務内容等)。
 - ・ 業務全体を管理する者及びその他の業務従事者について、業務従事者に対する指揮監督の在り方、業務従事者の配置、業務内容等を記載すること。
- ウ スケジュール
 - ・ 実施計画の具体的なスケジュールを記載すること
- エ 業務の企画、実施方法

3 見積書について

- (1) 広島県知事宛とすること。
- (2) 当業務に係る所要経費をすべて見積ること。また、見積りの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。金額は、消費税及び地方消費税を含めた金額を記入すること。見積りの根拠となった諸経費の明細を明らかにした資料を添付すること。

4 提案書の評価基準

次の審査基準に基づき得点方式で評価し、合計得点の高い者を最優秀提案者に決定する。

評価項目等	配点	係数	評定点
1 業務実施方法（仕様書への適応）			
(1) 清掃活動の実施			
下記①～③の項目を含んでいるか、その内容に独自の提案がなされているか、具体的かつ妥当な内容となっているのかについて評価する。 ① 本県の海岸漂着物実態調査の結果を踏まえ、県西部1地点、県中部又は東部から1地点を候補とし、計100人以上が参加できる内容になっているか。【必須】 ② 若者（小学生～大学生）が参加しやすいよう、移動手段や開催場所、内容等が工夫されているか。【必須】 ③ 地域の清掃活動と本業務の掛け合わせやキャンペーンの一環として実施できる内容になっているか。	各5	2	30
(2) 学習会の開催			
下記①～③の項目を含んでいるか、その内容に独自の提案がなされているか、具体的かつ妥当な内容となっているのかについて評価する。 ① 次世代を担う若者（小学生から大学生まで）を中心とし、若者全体、或いは年代や学年を限定する等、学習会の内容や手法に合わせて対象者を設定するとともに、募集方法等が具体的で合計20名以上の参加が見込めるものであるか。【必須】 ② 学習の題材は「海洋プラスチックごみ」とするが、海に纏わる内容を複合的に盛り込んだ内容にするなど、多くの人の興味・関心を惹くものになるよう工夫しているか。 ③ GSHIP 参画会員の有する技術や活動実績を共有するパートを盛り込み、企業や団体等と若者の交流がうまれる仕掛けになっているか。 ④ (1) 清掃活動と連動した企画となっているか。【必須】	各5	2	40
(3) 意識調査			
次の点について、具体的かつ妥当な内容となっているのかについて評価する。 ① 清掃活動または学習会の参加者に対して、業務目標「海ごみ問題への取組を継続していく意欲を持った人の割合」の達成状況を、意識調査により把握できる内容になっているか。	各5	2	10
2 業務の実施体制・遂行性			
次の点について評価する。 ① 過去に同種又は類似業務を受託し、適切に履行するなど豊富な実績があり、必要な知識・知見を有し、本業務を十分に実施できると認められるか。 ② 業務スケジュールは具体的で、業務遂行可能な人員の確保、業務に精通した担当者の配置、県と随時連絡できる体制が確保され、確実な遂行が可能と認められるか。	各5	2	20
3 経費			
経費の配点×(提案者中の最低見積金額) / (当提案者の見積金額)	10	1	10
評定点合計 (110点満点)	110点		

※最低基準点は次のとおりとする。

選定委員会の委員による評価結果の合計が、満点（110点×委員数）の6割に満たない提案は選定しない。

※必須項目として設定した評価項目については、提案内容に含まれていない場合は選定しない。

※評定点の考え方は次の評価に項目ごとの点数を足し合わせた点数とする。

評価	非常に優れている	優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている
点数	5点	4点	3点	2点	1点	0点